



私と○○

各界で活躍する人々が、今のビジネスや哲学にたどり着ききっかけとなった○○を聞く。

ロバート・リップシャッツ 歯科院長
ロバート・リップシャッツさんとヘビメタル

わたしがヘビメタル音楽のファンだと知ると、多くの人が驚きます。歯科医院ではクラシック音楽をかけていますし、ヘビメタル音楽好きには見えないからかもしれません。週に4回通っているジムでは毎回、ヘビメタル音楽を聞きながらトレニングしています。また好きなバンドのコンサートにも可能な限り足を運んでいます。歯科医という仕事柄、神経を集中させる細かい治療が多いため、

強いストレスがたまります。オフタイムに大好きなヘビメタル音楽を聴いていると、心身共にエネルギーが湧いてきて、また翌日からの仕事もがんばれます。特に好きなのが、わたしが青春時代を送った、1970年代後半から80年代に活躍した、イギリスのバンド「アイアン・メイデン」や、一般的にスラッシュメタルと呼ばれる、アメリカのバンド「アンストラックス」、「メタリカ」、「メガデス」な

ロバート・リップシャッツさん ■ 歯科医。フィラデルフィア市出身。イリノイ大学文学部心理学科、ペンシルベニア大学歯学部卒業。予防歯科、審美歯科、再生治療、歯周病治療、神経治療など幅広く対応。米国歯科医師会、ニューヨーク州歯科医師会、米国日本人医師会、ほか会員。写真はお気に入りのヘビメタル音楽のアルバムと一緒に。

ど。彼らの真骨頂とも呼べる、猛烈な速さと複雑さを駆使したギターのソロを聞くと、震えるような感動が呼び起こされます。何度聞いても飽きる事がなく、毎回発見があり、理解が深まるのも魅力です。

わたし自身、高校生のとき、地元フィラデルフィア市でヘビメタル音楽に影響を受けたパンクバンドで、ベースギターを弾いていました。当時としてはめずらしいタイプの音楽だったと思います。幼いころからバイオリンを習っていたため、ベースギターへの移行は苦ではありませんでした。音楽事務所とも契約を結び、コンサートを開くと多くのファンが集まり、地元では結構有名だったんですよ。

患者さんと密接なコミュニケーションを取り、最適な治療を提供するのがわたしのモットー。治療が終わったからも仲良くさせていただく人が多いですね。

現在、当地にいる方だけでなく、駐在員生活や留学を終え、帰国された方とも交流を続けています。先日妻の実家がある日本へ行ったときにも、以前患者さんだった人や当地で歯学の勉強をしていた人と会い、楽しい時間を過ごしました。

また、意気投合して一緒にヘビメタル音楽のコンサートへ行くようになった患者さんもあります。一見、仕事とはまったく接点のない、ヘビメタル音楽ファンというわたしの側面が、患者さんとのコミュニケーションに役買ってくれるというのは、面白いことだなあと思っています。

INFORMATION
Robert D. Lipschutz, D.M.D., P.C.
57 W. 57th St., #705
(bet. 5th & 6th Aves.)
TEL: 212-752-3001
www.dr Lipschutz.com